

担当分野	文学			委員名	中澤千磨夫
				資料頁数	2 0
				資料数	9

I 期 戦後改革・ 制度整備期 (' 45 ~ ' 55)	● (掲載候補資料名) ○ (収集予定の資料) ● 「あとがき」 (『札幌文学』第 1 号、1950・1・20、札幌文学会) (資料 5) ● 「あとがき」 (『裸人群』第 1 号、1950・5・1、文学集団 裸人群) (資料 16)
II 期 高度成長期 (' 55 ~ ' 75)	● 「編集後記」 (『位置』創刊号、1962・11・＊、「位置」の会) (資料 28) ● 和田謹吾「日本文学のなかの北海道」(北海道文学展実行委員会編集部会編『北海道文学展図録』1966・10・25、北海道文学展実行委員会) (資料 82) ● 柴橋伴夫「異形としての風土——北海道文化の神話の解体へ向けて——」(『熱月』第 4 号、1975・2、10、熱月社) (資料 41)
III 期 低成長期あるいは安定成長期 (' 75 ~ ' 95)	● 小笠原克「北海道の文学」(北海道高校国語教育研究会編『北海道の文学 雪と原野と人間の物語』1979・3・15、一光社) (資料 81) ● 越野格「編集後記」(『異徒』第 1 号、1980・5・31、異徒の会) (資料 3) ● 中澤千磨夫「北海道近代文学懇話会のこと」(江原光太編『妖』創刊号、1994・9・＊、＊) (資料 42)
IV 期 構造改革期 (' 95 ~ ' 03)	● 小岸昭「創刊に寄せて」(『ブレーメン館』創刊号、2003・6・20、『ブレーメン館』編集部) (資料 27) これまであまり注目されていない資料にも目配りした。散文中心になりがちなことを克服するのが課題。掲載候補はほかにも多数。